

禁句！ 子育て中に言わないと決めている言葉

子どもが親から受ける影響は大きいものです。言動の一つで、子どもにとって人生を左右しかねない衝撃を与えることもあります。毎日一緒にいて子どもを育てていても、言葉には細心の注意を払いたいところです。ここでは、今子育てをしている母親に、「子どもには言わないと決めている言葉」を聞いてみました。

【禁句①】 「お兄ちゃん(お姉ちゃん)なんだから…」

もっとも多かったのは「お兄ちゃん(お姉ちゃん)なんだから我慢しなさい」「譲りなさい」などの言葉でした。兄弟がいると、ついでの子に我慢をさせてしまいがちになります。お兄ちゃん(お姉ちゃん)だからという理由で諦めさせたり、弟や妹、年下の子に譲るように催促したりしてしまうのは可哀想です。



【禁句②】 「男の子(女の子)なんだから…」

男の子だから泣いちゃダメとか、女の子だから服を汚しちゃダメとか、令和も始まった新しい時代です。未だに男らしく、女らしくなんて言っている人もなかにはいるでしょう。男の子だから泣いちゃいけない理由なんてどこにもありません。男の子だって泣いていいし、女の子だってお飯事(おままごと)をしなくてもいいのです。

【禁句③】 「お店の人に怒られるよッ！」

やっではいけない理由をお店の人のせいにしてしている親、結構見かけます。周りに迷惑をかけるからというきちんとした理由を伝えないといけません。お店の人が怒るから騒いだり、物に触ったりしてはいけないのではなくて、周りに迷惑かけるからだってきちんとした理由を伝えられる親になりたいものです。

【禁句④】 「育ててあげたんだから…」

子どもが頼んで親から産まれたわけではありません。どちらかというと、親の方から子どもに産まれてほしくて産んだのです。にもかかわらず、育てたことを恩着せがましくするのは、子どもからしたら迷惑な話です。親孝行は、産まれた時点で終わっています。



【禁句⑤】 「〇〇と比べてあなたは…」

「私が母に『あのうちの子は優秀なのに』」というように、誰だって人と比較はされたくないものです。自分らしく生きてくれればいいと望む親の声が多くあります。近所の子とか、同級生と比べるような発言はしたくないものです。



「女子力アップ Cafe Googirl」